

## マグロ中層撒餌流し釣り

沖縄県水産業専門技術員 新垣盛敬

### 1. 要 約

- (1) 浮魚礁で行なわれているマグロ飼付方式の流し釣り漁業では、近海には少ないキビナゴ、カタクチワシ、マイワシ等を餌として使用しており、冷凍魚を県外から移入している。
- (2) この漁法は撒餌をかなりの量を使用するので、餌代が経営を圧迫している。
- (3) 撒餌の節約と中層の大型キハダの漁獲を目的に漁具を試作した。
- (4) その漁具は、佐賀県で実施されているマダイかぶし釣り漁法を応用、改変した。
- (5) 試験操業は八重山地区の浮魚礁を利用して3日間実施した。漁獲はキハダ、カツオ主体に35尾、96kgであった。
- (6) 撒餌の使用量は半分以下となったが、大型のキハダは釣れなかった。

### 2. 目 的

現在、浮魚礁の周辺で実施されている飼付方式マグロ釣り漁法で使用される撒餌は沖縄近海には少ないキビナゴ、カタクチワシ、マイワシ等であるため、冷凍魚を県外から移入して使用している。

この漁法では1日に20kg入り冷凍イワシを2個から3個使用する。金額にすると3,800円～5,700円を海に撒くことになる。

漁場の表層には、小物のマグロ類や、撒餌をよこどりするカワハギや海鳥が多く、撒いた餌の大部分をそれらが食べてしまい、大物のいる中層までいかないことが多く、非常に無駄が多い。

この無駄をなくし、経営を改善するため、佐賀県で実施されているマダイかぶし釣り漁法を応用した、マグロ中層撒餌釣り漁具を試作した。

### 3. 実施時期・場所

- (1) 実施時期 昭和62年3月
- (2) 実施場所 八重山諸島 石垣島南沖合 水深1,000m
- (3) 協力者 八重山漁協曳縄研究会 川門重夫  
漁船 福吉丸(2.5トン)  
水産業改良普及員 伊礼勇雄・諸見里聡

### 4. 材料及び方法

#### (漁具)

- (1) 釣針 シビ流し釣り角型(大太郎針14号)
- (2) 先糸 上一ナイロンテグス(ニュークロ-50号)  
下一ナイロンテグス(ニュークロ-35号)

- (3) 餌袋 麻布
- (4) 重り 鉛 260g、370g
- (5) 撚戻し ボールベアリングサルカン 4号、8号

用糸は SBLサルカンφ12mm

- (6) 道糸 スーパートト 60号

(餌) カタクチイワシ、マイワシ、キビナゴ 10g~40gサイズ

#### 操業方法

- (1) 先糸テグスを手のひらで8字状に巻き、針にイワシを一匹がけにする。
- (2) 餌袋の半分に撒餌を入れ、巻いたテグスと針を入れる。
- (3) その上から撒餌を入れ、袋を閉じる。
- (4) 道糸で縛る。
- (5) 漁具を投入し、目的の深さに達したら道糸を引き仕掛を外して餌を撒く。

#### 5. 結果

- (1) 3日間の操業で1日平均、約30kg、合計96kgのキハダ、カツオが漁獲された。  
(3kg/尾が主体)
- (2) 使用した餌は1日に約20kgであった。

#### 6. 考察

- (1) 今回の試験操業は3日間と短く、また、時期的にも漁期の初めであり、20kg以上の大物がいなかったため十分な試験はできなかったが、盛漁期の5月以降であれば、大型魚の漁獲が見込める。今後、その時期の漁獲試験を実施する必要がある。
- (2) この漁法ではカワハギや海鳥などに餌を取られることなく餌をマグロのいる中層で撒くことができたので、餌の使用量も従来の半分以下となり、経費の節約ができる。1回あたりの餌使用量は500g程度で充分である。
- (3) 今回の試験では、船が風に流され漁具が中層に行くのに時間がかかったため、風向・風速によってはシーアンカーを使用して船を止める必要がある。

#### 普及事業における問題点

マグロ類はその鮮度保持方法が特に問題となるので、その改善普及を強化する必要がある。

#### 企業化試験への展開

漁具の投入と引上げに時間がかかるので、スナップにより着脱を簡単にして予備の餌袋を用意し、ラインホーラーで巻き上げすれば効率的な操業が可能であろう。

#### 経済効果

キハダは15kg以下の小物では価格が安く、採算にあわないが、中層の大物を漁獲することと、餌代金の半減ということにより経済効果は大きいと思われる。

7. 参考文献

- ① 金田 禎之            日本漁具・漁法図説    成山堂
- ② 伊礼 勇雄他        昭和60年度新技術実証事業報告（中層曳縄漁具試験）    1986. 3  
水産業改良普及活動実績報告書（沖縄県）
- ③ 池田 義明            山田重太郎「言語録・漁労長術」    1986. 3

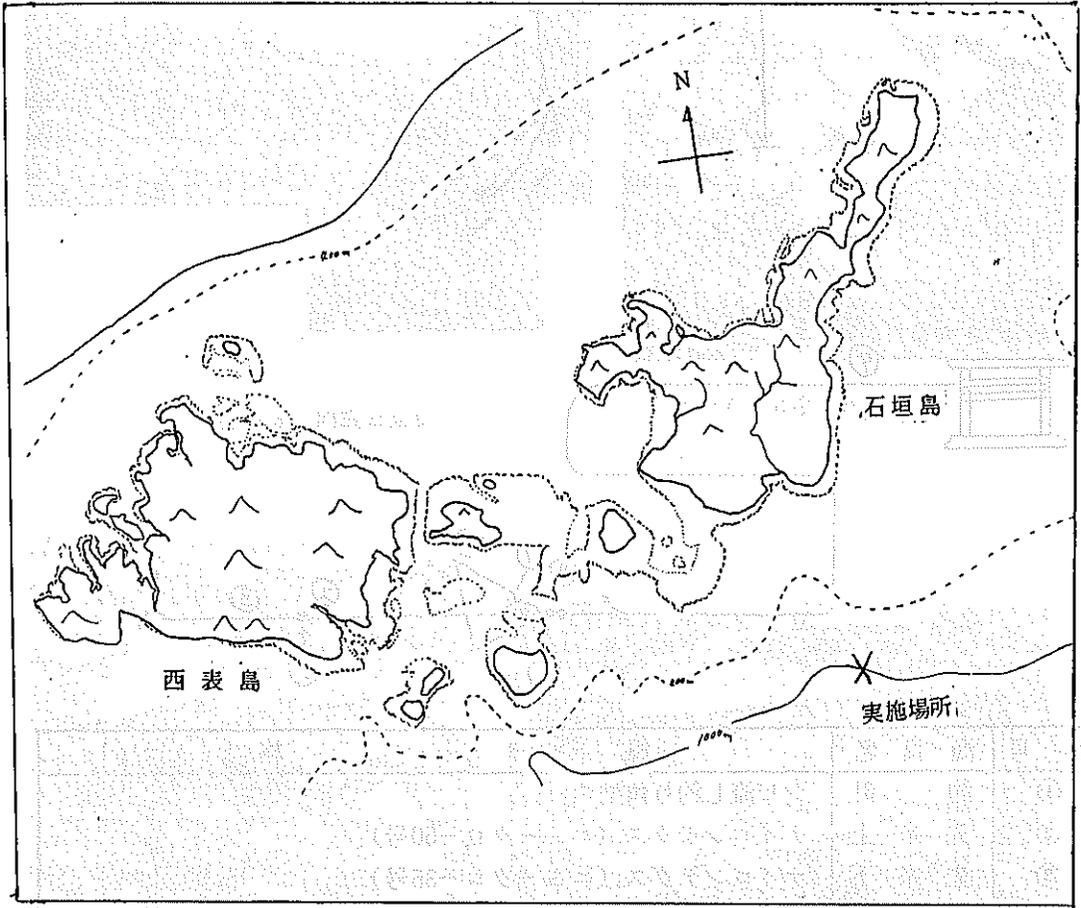
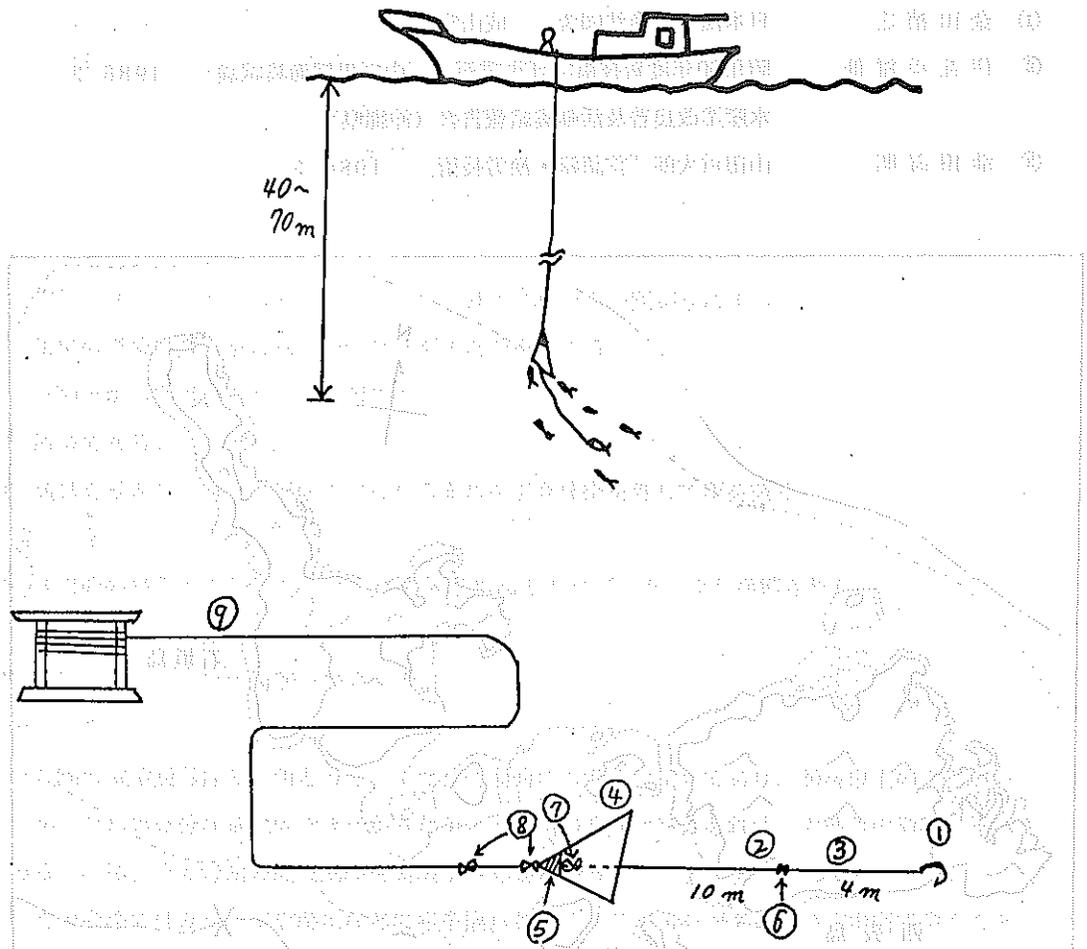


図-1 試験操業海域



番号	漁具名	規格
①	釣針	シビ流し釣り角型
②	先糸上	ナイロンテグス (ニュークロ-50号)
③	先糸下	ナイロンテグス (ニュークロ-35号)
④	餌袋	麻布
⑤	重り	260g、370g
⑥	撚戻し	ボールベアリングサルカン4号
⑦	撚戻し	ボールベアリングサルカン8号
⑧	撚戻し	SBLサルカン 12mm
⑨	道糸	スーパートト 60号

図-2 マグロ中層 餌流し釣り漁具、漁法略図

魚知者若熟帝の臨野  
先芽生存一若遊鯉凡現

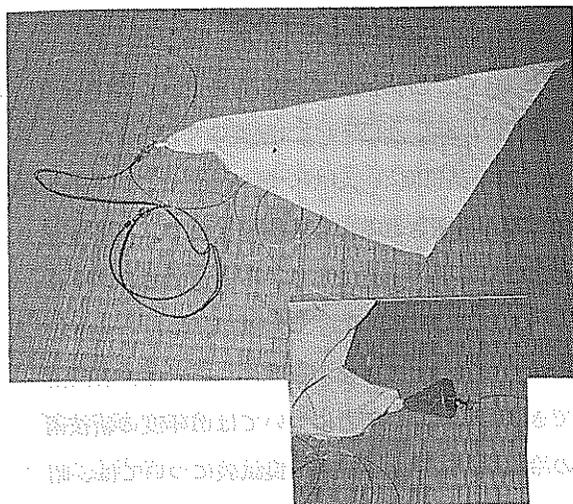


図-3 餌袋と重り

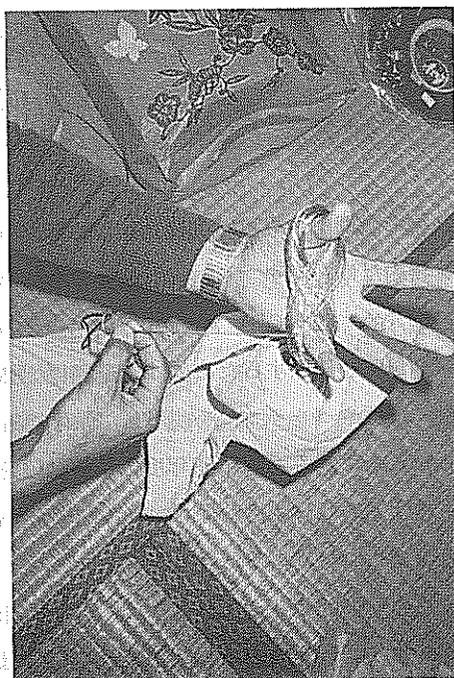


図-4 8字巻き

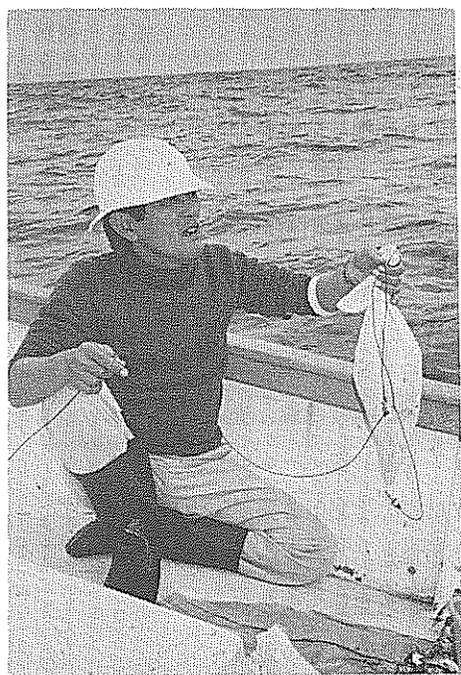


図-5 漁具の投入

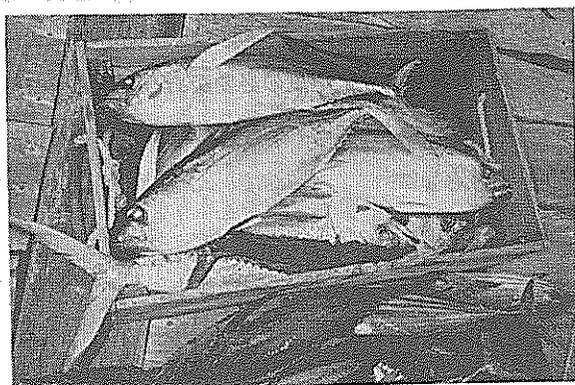


図-6 漁獲された魚